

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	H25年の外部評価の指針により、職員一同で「基本理念」を作り上げ、以来、事務所と各ユニットに掲示して常に意識している。しかし、今般のコロナ禍感染防止対策として、昨年夏から職員の唱和は中止している。管理者と職員は、この理念の存在は共有しているが、日々の実践の場面に反映されているかは難しいところがある。また、新人職員にはこの理念は十分に意識づけされていないのは否めない。	地域密着型サービスの意義を踏まえて、管理者と職員は基本理念を共有して、実践の場面に繋げて介護サービスに反映して行く。また、新人職員、ベテランに関わらず、継続的に共有できるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> ・12月22日の運営推進会議(外部評価の結果)を経て、年内中に職員全体会議を開催して、基本理念について再認識・共有を行う。 ・各職員は出勤時には、従前どおり個別唱和を行い、理念を意識して業務に当たる。(R3.1月から開始する) ・年2回、職員自己評価する時、基本理念に沿った業務が出来たか、そして介護サービスの向上につながったかを振り返る。 	6ヶ月
2	8	コロナ禍の中、一年以上に亘って面会や外出の制限等で不自由になり、家族や地域との交流が激減した。	利用者がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないようにする。	<ul style="list-style-type: none"> ・感染予防対策をとりつつ行動を制限されている中でも、手紙や写真、窓越し面会、ドライブなどを行って家族や近隣・地域との関係性を維持していく。 ・面会の状態は感染状況等によってコントロールする。 	1ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。